

- 結論ありきの説明ではなく、住民と一緒に地域のモビリティの問題点・課題を共有するところから始めることが有効。

知恵袋

結論ありきではなく、バイアスのない状態から議論をはじめた

⇒ **行政運営のバスから地域住民主体のコミュニティタクシーへの移行[山口市]**

- ・ 住民主体の交通サービスの意義を理解してもらっても、「答えがありき」では、住民も納得できない面がある。
- ・ 山口市では、すぐにコミュニティ交通への合意を求めるのではなく、まずは、今の地域バスに問題がないかどうかを検討するところからはじめようということで、住民を協議のテーブルにのせることができた。